



第4回 JGA ルールテスト

練習問題 E

テスト時間：60分

100問四択一方式(4つの選択肢から正解を一つだけ選択する)

注意事項

- ① 別途記述がなければ、設問はストロークプレーとする。
- ② 別途記述がなければ、設問はローカルルールが制定されていないものとする。
- ③ 別途記述がなければ、規則の重大な違反は生じていないものとする。
- ④ 正解は2019年1月施行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」に基づく。
- ⑤ 各設問の正解は一つのみ。
- ⑥ 個人で使用する目的以外で、複製、頒布、二次使用は禁止する。

この練習問題 E は本テストの約一ヶ月前からテスト受験者に、オンライン練習問題として提供される内容と同様である。

各設問の正解を一つ選んでください。

1. プレーヤーが自分の体を保護するために、タオルをブッシュの上に置いてストロークを行った場合に適用する規則はどれか。
 - ① 8.1
 - ② 8.2
 - ③ 10.1
 - ④ 10.2

2. 委員会が裁定を行うときにビデオの証拠を使用して事実問題を決定する場合に適用となる規則はどれか。
 - ① 1.1
 - ② 1.2
 - ③ 20.1
 - ④ 20.2

3. パッティンググリーン上で、プレーヤーが動いている球を故意に止めた場合に適用される規則はどれか。
 - ① 9.4
 - ② 10.1
 - ③ 11.1
 - ④ 11.2

4. ゴルフトレーニング補助器具で練習スイングを行った場合に適用される規則はどれか。
 - ① 4.2
 - ② 4.3
 - ③ 5.5
 - ④ 5.6

5. 「ジェネラルエリア」と呼ばれる理由について規定している規則はどれか。
 - ① 2.1
 - ② 2.2
 - ③ 2.3
 - ④ 2.4

6. ドロップしなければならないのに球をプレースしてプレーした場合に適用される規則はどれか。
- ① 14.1
 - ② 14.2
 - ③ 14.3
 - ④ 14.4
7. ジェネラルエリアでアンプレヤブルのラテラル救済を受ける場合に適用となる規則はどれか。
- ① 19.1
 - ② 19.2
 - ③ 19.3
 - ④ 19.4
8. プレーを再開する時に委員会が設定した時間より 6 分早くプレーを再開した場合に適用となる規則はどれか。
- ① 5.4
 - ② 5.5
 - ③ 5.6
 - ④ 5.7
9. プレーヤーが罰を含む規則に違反したことを知っていて、故意にその罰を適用しなかった場合に適用される規則はどれか。
- ① 1.1
 - ② 1.2
 - ③ 1.3
 - ④ 20.1
10. ホールアウトしなかったホールがあり、別のホールを始めるためのストロークを行った場合に適用される規則はどれか。
- ① 3.1
 - ② 3.2
 - ③ 3.3
 - ④ 6.5

11. パットティンググリーン上で、球の箇所をマークせずにホールに向けて商標マークを合わせるためにその球を回転させた場合に適用する規則はどれか。
- ① 9.3
 - ② 9.4
 - ③ 13.1
 - ④ 13.2
12. ジェネラルエリアで球が直前のストロークの結果作られた自らのピッチマークの中にあり、球の一部が地表面以下にある場合に適用となる規則はどれか。
- ① 16.1
 - ② 16.2
 - ③ 16.3
 - ④ 16.4
13. ホールをスタートする時に、ティーイングエリアの外からプレーした場合に適用される規則はどれか。
- ① 6.1
 - ② 6.2
 - ③ 6.3
 - ④ 6.4
14. パットティンググリーン上で、動いている球に対してストロークを行った場合に適用される規則はどれか。
- ① 9.4
 - ② 10.1
 - ③ 11.1
 - ④ 11.2
15. 目的外グリーンがプレーヤーの意図するスタンスの物理的な障害となる場合に適用される規則はどれか。
- ① 13.1
 - ② 13.2
 - ③ 13.3
 - ④ 16.1

16. 球を確認しようとしている間に、その球のライに影響を及ぼす砂を動かし、元のライに復元せずにその球をプレーした場合に適用される規則はどれか。
- ① 7.1
 - ② 7.2
 - ③ 8.1
 - ④ 8.2
17. レッドペナルティーエリアから後方線上の救済を受ける場合に適用となる規則はどれか。
- ① 17.1
 - ② 17.2
 - ③ 17.3
 - ④ 17.4
18. プレーヤーの球がバンカー内にあり、砂の状態をテストするために故意に砂に触れた場合に適用される規則はどれか。
- ① 8.1
 - ② 8.2
 - ③ 12.1
 - ④ 12.2
19. バンカーで拾い上げた球をリプレースしなければならない場所にあるルースインペディメントを取り除いた場合に適用となる規則はどれか。
- ① 12.1
 - ② 12.2
 - ③ 15.1
 - ④ 15.2
20. ペナルティーエリアの水流が球をアウトオブバウンズに運んだ場合に適用となる規則はどれか。
- ① 9.6
 - ② 17.2
 - ③ 17.3
 - ④ 18.2
21. 次のうち、動物の穴として扱えないものはどれか。
- ① 動物が地下に穴を掘った結果、変化した地面の区域。
 - ② 動物の穴に通じるすり減った獣道。
 - ③ 動物が穴から掘り出して分離している物。
 - ④ ミミズが掘った穴。

22. 次のうち正しいものはいくつあるか。

- ・ティーは 4.5 インチ以下の長さで用具規則に適合していなければならない。
- ・ホールの直径は 4.25 インチでなければならない、深さは少なくとも 4 インチなければならない。
- ・ティーイングエリアは横幅 2 クラブレングスの長方形である。
- ・ライナーを使用する場合は、パッティンググリーン面より少なくとも 2 インチ沈めなければならない。

- ① 1 つ
- ② 2 つ
- ③ 3 つ
- ④ 4 つ

23. 次のうち、球のライの一部として扱われないものはどれか。

- ① 球が触れている、境界物。
- ② 動かせる障害物。
- ③ 球のすぐ近くにある動かさない障害物。
- ④ 球が止まっている不可分な物。

24. 次のうち、完全な救済のニヤレストポイントを使用する規則はいくつあるか。

- ・アンプレヤブルの球の救済
- ・危険な動物からの救済
- ・地面にくい込んだ球の救済
- ・目的外グリーンからの救済

- ① 1 つ
- ② 2 つ
- ③ 3 つ
- ④ 4 つ

25. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 救済エリアは常に 1 クラブレングスとなる。
- ② 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレングスを使用する場合、自然にうねった地面の中を通して計測することができる。
- ③ クラブレングスは、救済エリアのサイズを決定する時にだけ使われる。
- ④ クラブレングスはラウンド中にプレーヤーが持っているクラブのうち、パター以外で最も長いクラブの長さとなる。

26. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 境界物はその一部を動かすことができたとしても、動かさないものとして扱われる。
- ② 境界物は不可分な物である。
- ③ 境界物には境界フェンスに取り付けられた支柱を含む。
- ④ 境界物には境界フェンスの基礎は含まない。

27. 次の空欄に入る文言は何か。

「動かさない障害物」とは「***、またはその障害物やコースを壊さずに動かすことができない。」

- ① 合理的な努力で
- ② 簡単な努力で
- ③ 不合理な努力なしには
- ④ 不合理な方法でしか

28. 次のうち「誤球」はいくつあるか。

- ・別のプレイヤーのインプレーの球
- ・プレイヤーのインプレーの球
- ・捨てられている球
- ・暫定球
- ・ストロークプレーでプレーした第二の球

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ
- ④ 5つ

29. 次の空欄に入る文言はどれか。

「重大な違反」とは、「ストロークプレーで、誤所からのプレーが正しい場所から行われるストロークと比較してプレイヤーに***を与える可能性がある場合をいう。」

- ① 潜在的な利益
- ② 著しい不利益
- ③ 潜在的な改善
- ④ 著しい利益

30. 次のうち、外的影響として扱えるものはどれか。

- ① 自然の力
- ② 動いている別の球
- ③ 相手
- ④ プレーヤーのパートナー

31. 次の空欄に入る文言は何か。

「相手という用語は***にのみ適用する。」

- ① ストロークプレー
- ② ゴルフゲーム
- ③ マッチプレー
- ④ 競技

32. 次の空欄に入る文言は何か。

「プレー禁止区域」とは「***のいずれかの部分として定めなければならない。」

- ① 修理地か、ペナルティーエリア
- ② 異常なコース状態か、ペナルティーエリア
- ③ ジェネラルエリアか、ペナルティーエリア
- ④ 修理地か、一時的な水

33. 次のうち、「誤所」からのプレーとはならないものはどれか。

- ① 規則がリプレースを求めているのにリプレースせずにプレーすること。
- ② ドロップした球を救済エリアの外からプレーすること。
- ③ プレー禁止区域が意図するスタンス区域の障害となるときに球をプレーすること。
- ④ マッチプレーで、ホールのプレーをスタートするときに、ティーイングエリアの外から球をプレーすること。

34. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① マーキングされていない地上にある排水路は自動的に動かさない障害物として扱われる。
- ② 委員会が水域の縁を定めていない場合、ペナルティーエリアの縁はその水域の縁によって定められる。
- ③ ペナルティーエリアの縁は地面の上方と、地面の下方の両方に及ぶ。
- ④ ペナルティーエリアの色を委員会が特定していなかった場合は、イエローペナルティーエリアとして扱う。

35. 次のうち、重大な違反があったかどうかを決めるために比較をする場合、考慮に入れる要素はいくつあるか。

- ・ストロークに影響を及ぼす状態
- ・ストロークの難易度
- ・球からホールまでの距離
- ・プレーの線上にある邪魔な物の影響

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

36. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球が木の枝の分かれ目に挟まって止まっており、その木の枝が動いたが、その枝の中のその球の箇所は変わらなかった場合、動いたことになる。
- ② 球は静止したプラスチック製のカップの中に止まっていたが、そのカップが風に吹かれたことで、そのカップ自体が地面に関して動いた場合、球は動いたことになる。
- ③ 球が静止した動力付きカートの上に止まっていたが、そのカートが動いた場合、球は動いたこととはならない。
- ④ 揺れている球は動いたことになる。

37. 次のうち「ストロークと距離」を採用している規則はいくつあるか。

- ・規則 15
- ・規則 16
- ・規則 17
- ・規則 18
- ・規則 19

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ
- ④ 5つ

38. 次の空欄に入る文言は何か。

「一時的な水」とは、「次の条件を満たす***に一時的に溜まった水。」

- ① 地上面
- ② 地表面
- ③ フェアウェイかそれより芝草を短く刈った区域
- ④ ジェネラルエリア

39. 次のうち、ルースインペディメントとして扱われるものはいくつあるか。

- ・ ミミズ
- ・ 圧縮された土の塊
- ・ バラバラの土
- ・ クモの巣

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

40. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球の搜索が一時的に妨げられた場合、搜索のために認められる時間は、中止前と搜索再開後それぞれ3分間となる。
- ② 球を紛失と宣言することはできない。
- ③ プレーヤーが暫定球をプレーするために戻る場合、搜索時間のカウントは止まる。
- ④ 球の搜索が始まった後では、いかなる場合でも時間のカウントは止まらない。

41. プレーヤーの1つの行為が罰が1打となる複数の手続きの要件に違反し、同時に誤所からのプレーをした場合の合計の罰はどれか。

- ① 1罰打
- ② 2罰打
- ③ 3罰打
- ④ 失格

42. マッチプレーの最中、プレーヤーは間違っ少ないハンディキャップを宣言した。相手が次のストロークを行う前にその誤りを訂正しなかった場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1罰打
- ③ ホールの負け
- ④ 失格

43. 不適合クラブを使用してストロークを行ったが、そのストロークは取り消された場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1罰打
- ③ 2罰打
- ④ 失格

44. 委員会が設定した時間よりも 3 分早くスタートした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 失格
45. 一時的な水の中で動いている誤球に対してストロークを行った場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 失格
46. ジェネラルエリアで球を確認する合理的な必要性がないのに、拾い上げて球を確認した場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 失格
47. 球をプレーに戻すときに、風で動かされないようにするために地面に強く押し込むことによってプレースしてプレーした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
48. 救済を受けるために自分の球に歩み寄ったが、イライラして石を蹴飛ばしたところ、その石が偶然に球に当たり球を動かしたので、リプレースしてプレーした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
49. 球がサボテンの近くに止まり、サボテンから自分を保護するために自分の体にタオルを巻いた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打

50. 地面に置いてあるレーキが別のプレイヤーの動いている球を止めたと思ったので、そのレーキを拾い上げた。球がレーキが置いてあった箇所の手前で止まった場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
51. 球がバンカー内にあり、ルースインペディメントを合理的な行動で取り除いた際に、砂に触れてストロークに影響を及ぼす状態が改善された場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
52. プレーヤーの球の一部がホールにせり出していて、ホールに歩みよるための合理的な時間に加えて 12 秒後にホールに落ちた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
53. 規則がプレイヤーに球をリプレースすることを求めているのに、プレイヤーは球をドロップして規則が要求する箇所からプレーした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
54. ジェネラルエリアで、自分の球が他のプレイヤーのプレーの障害となる可能性があるとしてプレイヤー自身が考え、他のプレイヤーから要請されていないのに自分の球を拾い上げた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打

55. 球がジェネラルエリアの入り口から動物の穴に入ったが、境界フェンスから 30cm ほどしか離れていない入り口からであった。その動物の穴はそのフェンスの下に向かって急傾斜となっていたので、その球は境界線を越えて止まっていたのが見つかった場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
56. ペナルティーエリアからプレーした球が同じペナルティーエリアに止まった。プレーヤーはストロークと距離の救済を受けるために球をペナルティーエリアにドロップしたが、その後でそのドロップした球が止まった所からプレーしないことにして、ラテラル救済を受けた場合の合計の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
57. プレーヤーは暫定球をプレーする意思があったが、それを宣言せずに直前のストロークを行った場所から球をプレーした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
58. バンカー内の球のアンプレヤブルの球の救済で、バンカーの外で後方線上の救済を受ける場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
59. プレーヤーのティーショットは雑木林の中に止まった。プレーヤーは落ちていた球を遺棄された球だと思って拾い上げたが、その球が自分のインプレーの球であることが分かった。そのプレーヤーはその後でストロークと距離に基づいてプレーすることに決めた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打

60. マッチプレーで、6番ホール終了後、プレーヤーAと相手Bのマッチはタイであった。Aは7番ホールのティーショットを打った後に、ラウンドを始めたときから15本のクラブを持ち運んでいたことに気づいたのでクラブを1本プレーから除外することをBに告げた。7番ホールはAが勝った。7番ホール終了時のマッチの状態として正しいものはどれか。

- ① マッチはタイとなる。
- ② Aの1アップとなる。
- ③ Bの1アップとなる。
- ④ Aは失格となる。

61. 次のうち、重大な非行とみなされる行動はいくつあるか。

- ・パッティンググリーンへ深刻な損傷を故意に与える。
- ・不注意で別のプレーヤーがストロークを行うときに気を散らしてしまう。
- ・不当な利益をもたらす目的で取得したハンディキャップを使う。
- ・クラブを地面に投げつけ、そのクラブを損傷させるが、芝へ与えた損傷は小さかった。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

62. 次のうち「特定のコースエリア」はいくつあるか。

- ・ペナルティーエリア
- ・プレーヤーがプレーしているホール以外のティーイング場所
- ・目的外グリーン
- ・バンカー

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

63. 次のうち、正しいものはいくつあるか。

- ・ラウンド中に怪我の症状を緩和するための処置を繰り返し受ける場合、委員会は処置の度に15分を認めるべきである。
- ・規則では、自分のプレーの順番となったときに、40秒以内(通常はさらに短い時間で)にストロークを行うことを推奨する。
- ・通常の中断で、プレーヤーたちには、プレーを止めるか、そのホールを終了するかを決めるために通常は3分が認められる。
- ・球をリプレースする場合、回収不能の原因がプレーヤーの故意によるものではなく、合理的な努力により球を取り戻すことが数分以上かかる場合のみ、別の球を使用することができる。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

64. 次のうち、プレーの遅延を生じさせた場合に不当の遅延として扱われるものはいくつあるか。

- ・委員会が認めていない場合に、飲食物を入手するためにクラブハウスに数分間を越えて立ち寄った。
- ・紛失したクラブを回収するために、パッティンググリーンからティーイングエリアに戻った。
- ・飲食物を入手するために、コース売店に短時間立ち寄った。
- ・委員会が通常の中断をしたときに、そのホールのプレーを終わらせるかどうかを決めるためにプレーしている組の他のプレーヤーたちと相談する時間をとった。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

65. 次のうち正しいものはいくつあるか。

- ・距離計測機器で2点間の距離の情報を得ることは認められる。
- ・水準器として機能するように容器に入ったドリンクを置くことで傾斜を測定することは認められない。
- ・コース上の湿度を計測することは認められない。
- ・ゴルフ競技会の観客のために放映されている映像を見た場合、規則違反となる。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

66. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① タイのマッチは1度に1ホールずつ延長される。これは、新しいラウンドとなる。
- ② ストロークプレーのプレーオフ。これは同じラウンドが継続しているのであり新しいラウンドではない。
- ③ ラウンドの前やラウンドとラウンドの間でのコース上の練習の制限はプレーヤーとそのキャディーに適用となる。
- ④ プレーヤーは、その日の自分の最終ラウンドのプレー終了後にそのコースで練習をすることができる。

67. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① マッチプレーで、ティーイングエリアの外からプレーした場合、相手はそのストロークを取り消すことはできない。
- ② ティーイングエリアの規則は、プレーヤーがホールのプレーをスタートする場合にのみ適用される。
- ③ ストロークを行う前に、足で窪みを作ることによってティーイングエリアの地面を変えることができる。
- ④ ティーイングエリアの砂や土を取り除いて、ストロークに影響を及ぼす状態を改善することはできない。

68. プレーヤーが複数の罰を受ける場合の介在する出来事は何種類あるか。

- ① 1種類
- ② 2種類
- ③ 3種類
- ④ 4種類

69. マッチプレーで、止まっているプレーヤーの球が動いた場合、その原因の可能性は何個あるか。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

70. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ジェネラルエリアで、止まっている球を自然の力が動かした場合、罰なしに元の箇所にリプレイスしなければならない。
- ② ペナルティーエリアで、止まっている自分の球をプレーヤーが動かした場合、常に 1 罰打を受ける。
- ③ マッチプレーで、バンカーに止まっている球を相手が動かした場合、相手は常にそのホールの負けとなる。
- ④ ストロークプレーの別のプレーヤーが、止まっているプレーヤーの球を動かした場合、罰はなく元の箇所にリプレイスしなければならない。

71. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ストロークを行う場合、プレーヤーのクラブが偶然に 2 回、球に当たった場合、2 回のストロークとカウントされ罰はない。
- ② 球を正しく打つときに、クラブヘッドの背面を使用することは認められない。
- ③ 球を正しく打つとき、クラブヘッドが球と接触する必要はない。
- ④ いかなる場合でも、ストロークを行うときに片方の前腕を自分の体に押し当てることが認められる。

72. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 揺れている球をストロークした場合、プレーヤーは一般の罰を受ける。
- ② 水の中で動いている球にストロークをした場合、罰を受ける。
- ③ ティーから落ちつつある球にストロークを行った場合、罰なしに再プレーをしなければならない。
- ④ 一時的な水の中で球が動いている場合、プレーヤーは規則 16.1 に基づいて救済を受けることができ、球を拾い上げることができる。

73. ストロークプレーで、ジェネラルエリアからプレーされた球が偶然に自分の用具に当たった場合、正しいものはどれか。

- ① 罰なしに、再プレーしなければならない。
- ② 罰なしに、あるがままにプレーしなければならない。
- ③ 一般の罰で、再プレーしなければならない。
- ④ 一般の罰で、あるがままにプレーしなければならない。

74. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球がバンカー内にあるときに、怒って砂を叩いた結果、ストロークに影響を及ぼす状態を改善した。この場合、罰はない。
- ② 球がバンカー内にあるとき、ストロークのためのバックスイングを行う時に砂に触れた。この場合、罰はない。
- ③ 球がバンカー内にあるとき、コースの保護のため同じバンカー内をならすことは常に認められない。
- ④ 球がバンカー内にあるとき、ストロークに影響を及ぼす状態を改善しない場合には、使用しないクラブをバンカー内に置くことができる。

75. 次のうち、パッティンググリーン上にある場合、「パッティンググリーン上の損傷」として扱われないものはどれか。

- ① プレーヤーによるプレーの線上にあるスパイクマーク
- ② 車両による擦り傷
- ③ くい込んでいるティー
- ④ ホールの自然な摩耗

76. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① マッチプレーで球の箇所をマークしてボールマーカーを置いたままストロークした場合、そのホールの負けとなる。
- ② キャディーは、規則に基づいて常にプレーヤーの球を拾い上げることができる。
- ③ パッティンググリーンで拾い上げた球は常にふくことができる。
- ④ 球が救済を認められる状態にあるかどうかを確かめるために拾い上げた球はふくことができる。

77. ジェネラルエリアで、球をリプレースしなければならない場所にあるルースインペディメントを故意に取り除いた場合、正しいものはどれか。

- ① 罰なしに、ルースインペディメントを元の箇所に戻さなければならない。
- ② 1 罰打で、ルースインペディメントを元の箇所に戻さなければならない。
- ③ 1 罰打を受けるが、ルースインペディメントを元の箇所に戻す必要はない。
- ④ 罰はなく、ルースインペディメントを元の箇所に戻す必要はない。

78. ジェネラルエリアで、球が動かせる障害物の上に止まった場合、正しいものはどれか。

- ① 救済の基点は完全な救済のニヤレストポイントとなる。
- ② 救済を受ける場合、球が動かせる障害物の上に止まっていた場所の真下と推定する地点にプレースする。
- ③ 救済エリアはどのコースエリアでも良い。
- ④ 救済エリアのサイズは基点からホールに近づかない 1 クラブレングス以内となる。

79. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 危険な動物の状態からの罰なしの救済は、球がペナルティーエリア以外のコースエリアにある場合に認められる。
- ② 身体に危害を及ぼす可能性のある植物やブッシュからの罰なしの救済は、球がどのコースエリアにあっても認められる。
- ③ 危険な動物の状態からの救済に関して、完全な救済のニヤレストポイントとは、危険な動物の状態が存在しない場所でホールに近づかないもっとも近い地点を意味する。
- ④ 球がペナルティーエリアにあり、危険な動物の状態による障害がある場合、規則 17 に基づく罰なしの救済しか認められない。

80. レッドペナルティーエリアからプレーした球が同じレッドペナルティーエリア内に止まった場合、救済の選択肢として正しいものはどれか。

- ① 1 罰打で、4 つの選択肢がある。
- ② 2 罰打で、4 つの選択肢がある。
- ③ 1 罰打で、3 つの選択肢がある。
- ④ 2 罰打で、3 つの選択肢がある。

81. 次のうち、暫定球の宣言として認められるものはいくつあるか。

- ・「規則 18.1 に基づいて球をプレーします。」
- ・「念の為に別の球をプレーします。」
- ・「もう一回打ちます。」
- ・「別の球を打ちます。」

- ① 1 つ
- ② 2 つ
- ③ 3 つ
- ④ 4 つ

82. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① アンプレヤブルの救済は球がどのコースエリアにあっても常に認められる。
- ② アンプレヤブルの後方線上の救済は元の球の箇所がわかっていない場合、推定した地点を使用して救済を受けることができる。
- ③ 元の球が確認できない場合でも、規則 19.2a に基づいてストロークと距離の救済を受けることができる。
- ④ アンプレヤブルの後方線上救済を受ける場合、基点をティーなどで示さなければならない。

83. プレーヤーA はジェネラルエリアにあったプレーヤーB の球を誤ってストロークし、その球は 150 ヤード先のレッドペナルティーエリアに入った。この場合、A と B の正しい処置はどれか。
- ① A は一般の罰を受け、元の球を打たなければならない、誤球に行ったストローク数はカウントしない。B は罰なしに元の球か別の球を元の箇所へドロップしなければならない。
 - ② A は一般の罰を受け、元の球を打たなければならない、誤球に行ったストローク数もカウントする。B は罰なしに元の球か別の球を元の箇所へリプレースしなければならない。
 - ③ A は一般の罰を受け、元の球を打たなければならない、誤球に行ったストローク数はカウントしないが、ペナルティーエリアの救済の 1 罰打が課される。B は罰なしに元の球か別の球を元の箇所へリプレースしなければならない。
 - ④ A は一般の罰を受け、元の球を打たなければならない、誤球に行ったストローク数はカウントしない。B は罰なしに元の球か別の球を元の箇所へリプレースしなければならない。
84. プレーヤーの球がイエローペナルティーエリアにあることが事実上確実な場合、罰ありの救済の選択肢はいくつあるか。
- ① 1 つ
 - ② 2 つ
 - ③ 3 つ
 - ④ 4 つ
85. プレーヤーの球がバンカー内にあり、異常なコース状態による障害から救済を受ける場合、正しいものはどれか。
- ① 完全な救済のニヤレストポイントは、バンカー内かジェネラルエリアでなければならない。
 - ② 救済エリアの基点として、常にバンカー内の最大限の救済を受けることができるポイントを使用することができる。
 - ③ 救済は常にリプレースとなる。
 - ④ 最大限の救済を受けた後で 1 罰打でバンカーの外の後方線上に球をドロップすることができる。
86. 次のうち、フェアウェイにくい込んだ球の救済で正しいものはどれか。
- ① 基点は球が地面にくい込んでいる場所の真下の箇所となる。
 - ② 救済は基点にリプレースする。
 - ③ 救済エリアはジェネラルエリアでなければならない。
 - ④ 地面にくい込んだ球の救済を受けるには、球が土に触れていなければならない。

87. 次のうち、空欄に入る文言はどれか。

「委員会が裁定を行うときに事実問題を決定する場合、ビデオの証拠の使用は***基準によって制限される。」

- ① 目測
- ② 肉眼
- ③ 分かっている、または事実上確実
- ④ 公正の理念の

88. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ラウンド中、スイングのテンポに役立つために音楽を聞くことは認められる。
- ② グリップの周りにハンカチを巻くことは認められる。
- ③ 天気予報から風速に関する気象状況を得ることは認められない。
- ④ 風に関する情報を得るために人工物を使用することは常に認められる。

89. 次のうち、キャディーの行動として常に認められるものはどれか。

- ① パッティンググリーンのプレーヤーの球の箇所をマークして、その球を拾い上げてリプレースすること。
- ② プレーヤーの球が止まった後に悪化した状態を復元すること。
- ③ マッチのスコアに関して相手に同意すること。
- ④ 規則に基づいて救済を受ける決定をすること。

90. 次のうち正しいものはどれか。

- ① 球の一部がジェネラルエリアとパッティンググリーンに触れている場合、その球はパッティンググリーン以外の球として扱う。
- ② 球の一部がジェネラルエリアとティーイングエリアに触れている場合、その球はジェネラルエリアの球として扱う。
- ③ 球の一部がジェネラルエリアとペナルティーエリアに触れている場合、その球はジェネラルエリアの球として扱う。
- ④ 球の一部がペナルティーエリアとバンカーに触れている場合、その球はバンカーの球として扱う。

91. 次のうち正しいものはいくつあるか。
- ・ペナルティーエリアのステータスは使用するティーイングエリアによって異なることがある。
 - ・ペナルティーエリアのステータスはホールによって異なることがある。
 - ・ペナルティーエリアの縁のステータスはホールのプレー中に変わることがある。
 - ・ペナルティーエリアの一部をプレー禁止区域として定めることはできない。
- ① 1つ
② 2つ
③ 3つ
④ 4つ
92. プレーヤーは元の球の場所が分からなかった。「分かっている、または事実上確実」ではないのに、球が修理地の中にあると思い込んで、プレーヤーは規則 16.1e と規則 16.1b に基づいて別の球をドロップしてプレーした。この場合の裁定に適用する規則の組み合わせで次のうち正しいものはどれか。
- ① 9.4 と 18.2
② 14.7 と 16.1
③ 14.7 と 18.1
④ 16.1 と 18.1
93. 次のうち臨時の動かさない障害物(以下 TIO という)についてのローカルルールで正しいものはどれか。
- ① TIO からの物理的な障害がある場合、プレーヤーは規則 16.1 の救済措置を使うか TIO のローカルルールを使うことを選ぶことができ、これらの選択肢のひとつに基づいて救済を受けた後でもう一方の選択肢に基づいて救済を受けることもできる。
- ② TIO が動かさない障害物であるかのように異常なコース状態からの救済を受ける措置は、球がペナルティーエリアにある場合は受けることができない。
- ③ 球が見つからないが TIO の中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合の救済の基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ④ 球が TIO の外側のブッシュの中にあるためにストロークを行うことができない場合でも TIO の救済を受けることができる。
94. 溝とパンチマークの仕様は 2010 年に施行となったが、少なくとも何年になるまで 2010 年より前に製造されたクラブはこの仕様に適合することは求められないか。
- ① 2020 年
② 2022 年
③ 2024 年
④ 2026 年

95. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① レフェリーは自分が目にしたり、報告されたすべての規則違反に対応するべきだが、その責任はない。
- ② 特定のホールに割り当てられたマッチプレーのレフェリーはプレーヤーから裁定の要請がなければ、そのマッチに介入する権限は持たない。
- ③ レフェリーには規則違反をしそうになっているプレーヤーに警告する義務がある。
- ④ プレーヤーはレフェリーの裁定に同意しない場合、常にセカンドオピニオンを求めることができる。

96. 次のうち、運営上の誤りとなるものはどれか。

- ① ハンディキャップの適用を間違えた。
- ② 委員会が規則を誤解した。
- ③ レフェリーが存在しない規則を適用した。
- ④ 委員会が間違った裁定をした。

97. 次のうち、空欄に入る文言はどれか。

レフェリーが事実問題を解決し、規則を適用する場合に、「事実が決定的ではない一部の状況では、その疑念は球が関連するプレーヤーに***解決すべきです。」

- ① 不利に
- ② 有利に
- ③ 一貫性を持った方法で
- ④ 合理的な方法で

98. プレーヤーはティーショットがペナルティーエリアの中で紛失したものと決めつけ(事実上確実という証拠はなかった)、ペナルティーエリアからの罰ありの救済を受けて別の球をそのペナルティーエリアの近くにドロップしてプレーした。このケースを裁定する場合、罰の根拠となる規則の組み合わせとして正しいものはどれか。

- ① 14.3 と 16.1
- ② 16.1 と 14.7
- ③ 14.7 と 18.1
- ④ 16.1 と 18.1

99. 次のうち、誤っているものはどれか。

- ① コース内のバンカー練習場をジェネラルエリアの修理地とすることができる。
- ② 目的外グリーンのリッジからのプレーを禁止することができる
- ③ アンプレヤブルの球の救済にドロップゾーンを設けることはできない。
- ④ プリファードライの救済エリアはジェネラルエリアでなければならない。

100. 次のうち正しいものはどれか。

- ① マッチのプレー中にレフェリーによる間違っただ判定が発覚した場合には常に訂正しなければならない。
- ② 委員会はプレーヤーがレフェリーの裁定に同意しない場合、セカンドオピニオンを求めることをすべてのプレーヤーに常に認める方針を採用することができる。
- ③ ストロークプレーのレフェリーがホール全体に割り当てられている場合、規則違反をしそうになっているプレーヤーに警告する義務がある。
- ④ ストロークプレーのレフェリーによる間違っただ判定は、最終となるのでいかなる場合でも裁定を訂正することはできない。



第4回 JGA ルールテスト

練習問題 E 正解

1	①	21	④	41	②	61	②	81	①
2	④	22	①	42	①	62	②	82	③
3	④	23	②	43	①	63	①	83	④
4	②	24	②	44	③	64	②	84	②
5	②	25	④	45	①	65	②	85	④
6	③	26	①	46	②	66	④	86	③
7	②	27	③	47	③	67	③	87	②
8	④	28	①	48	②	68	③	88	②
9	③	29	④	49	①	69	④	89	①
10	③	30	②	50	③	70	④	90	①
11	②	31	③	51	①	71	③	91	②
12	③	32	②	52	②	72	④	92	③
13	①	33	④	53	②	73	②	93	③
14	②	34	③	54	②	74	④	94	③
15	①	35	④	55	②	75	④	95	②
16	①	36	②	56	③	76	③	96	①
17	①	37	②	57	②	77	③	97	②
18	④	38	②	58	③	78	④	98	③
19	③	39	③	59	③	79	③	99	③
20	④	40	②	60	③	80	①	100	②

